

## 参照

## 個別の学習における目標と評価規準の設定

Step 2, Step 3を踏まえて【学んだことを生かしている姿】から、調整・見直しをした各教科の目標及び内容を踏まえて目標と評価規準を設定します。目標と評価規準の設定方法については「みやぎ授業づくりガイド」で示していますので、ご覧ください。



<http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/jyugyoudukuri/>

「各教科等を合わせた指導」の場合、単元（題材）の目標が具体的にになれば、評価規準が目標と同じ内容になります。単元（題材）の目標を、更に具体的にした評価規準を設定するという考え方もあります。

【参考】「みやぎ授業づくりガイド」第2章2-20

## 個別の目標と評価規準



## Aさんの単元の目標

- ・買物学習を通して、金銭の必要性に気付くとともに、教師に援助を求めながら、買物に必要な言葉を理解して受け答えをする。〔知識及び技能〕
- ・買物に関わる人とのやり取りを通して、相手に注目したり挨拶したり、簡単な台詞等で表現できる。〔思考力、判断力、表現力等〕
- ・買物学習で学んだことを、気持ちを落ち着かせて生活や学習に活用しようとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

## Aさんの単元の評価規準

- ・買物学習を通して、金銭の必要性に気付くとともに、教師に援助を求めながら、買物に必要な言葉を理解して受け答えをしている。（知識・技能）
- ・買物に関わる人とのやり取りを通して、相手に注目したり挨拶したり、簡単な台詞等で表現している。（思考・判断・表現）
- ・買物学習で学んだこと生かし、気持ちを落ち着かせて生活や学習に活用しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）